

令和3年度札幌市アイヌ施策について

札幌市

施策目標 1 : アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 1 : アイヌ文化の継承と人材育成

予算額 : 3,959 千円 (R2 年度 : 2,139 千円)

① アイヌ文化体験講座 (文化継承関係) の実施

アイヌ文化の担い手の裾野を広げるきっかけづくりとして、アイヌ民族を対象とした体験講座を実施する。

② アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進活動やアイヌの子弟に対する学習支援活動、アイヌ民族の現状や人権等に関する講演の開催、アイヌ文化に関する啓発活動など、札幌アイヌ協会が実施する事業に対し、補助を行う。

③ インカルシペ・アイヌ民族文化祭開催の支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し、補助を行う。

推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間 (イオル) の再生

予算額 : 7,415 千円 (R2 年度 : 5,040 千円)

① イオル再生事業の実施

アイヌの伝統的な生活空間再生事業 (イオル再生事業) を推進するため、自然素材育成や体験交流事業を実施する。

② 林産物の資源調査の実施

アイヌ文化の振興等に利用するための林産物を国有林野において採取する事業の実施に先立ち、採取希望区域の林産物の資源量等を調査する。

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

予算額 : 27,625 千円 (R2 年度 : 28,406 千円)

① アイヌ文化体験講座 (市民向け) の実施

アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりとして、手芸、工芸、料理など、市民を対象とした体験講座を実施する。

② 大型イベントと連携した情報発信

夏まつりやオータムフェスト等のイベントの開催に合わせて、アイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を披露する。

③ アイヌアートモニュメントの制作・展示

市民が「見て」、「触れて」アイヌ文化を感じていただくというコンセプトにより、公募した市民がアイヌ民族の指導のもとタペストリーを共同制作し、札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) の地下鉄南北線さっぽろ駅側の柱に展示する。

また、アイヌ民族に対する市民理解の促進を目的として、アイヌモニュメント (タペストリー) を JR タワー 1 階西コンコース及び札幌市役所本庁舎 1 階ロビーに継続して展示する。

④ 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

公共空間等を活用して、国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンを展開する。

- ・市役所本庁舎 1 階ロビーのタペストリー展示什器裏に、キャンペーンを啓発する大型フィルムシートを継続して設置
- ・職員研修や各種体験講座の実施時に参加者へリーフレットを配布

⑤ アイヌ文化を発信する空間の管理運営

平成 31 年 3 月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間 (ミナパ)」の管理運営及び維持更新を行い、継続的にアイヌ文化への理解の促進を図る。

推進施策 2 : アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

予算額 : 20,949 千円 (R 2 年度 : 25,438 千円)

① 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施する。

また、アイヌ文化交流センターに来館するための無料送迎バスを用意する。

② 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地にあるなどの事情により、アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に出向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施する。

③ 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向等について研修を実施する。

④ 新採用職員への研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権に関する基礎研修を実施する。(主催：総務局自治研修センター)

⑤ 民族教育の充実(ムックリ体験等)

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、団体体験プログラムと連携した伝統楽器「ムックリ(口琴楽器)」の体験機会の提供、「トンコリ(五弦琴)」の学校への貸出を行う。

施策目標 3 : 体験・交流の促進

推進施策 1 : 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

予算額 : 102,461 千円 (R2 年度 : 97,556 千円)

① アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興、市民との交流等を促進するため、アイヌ文化交流センターで次の事業を行う。

- ・アイヌ文化体験講座
- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）
- ・小中高校生団体体験プログラム
- ・小中高校生団体出前体験プログラム

② アイヌ文化交流センター機能の充実

来館者が気軽にアイヌ文化に触れる機会を創出するため、刺しゅうや木彫りなどのアイヌ民族の講師が常駐する文化体験コーナーの設置や、多言語化対応した展示ガイドアプリ・展示物説明プレートの解説内容等を充実する。

また、ポンチセ等の展示物の更新を実施する。

③ 中庭改修に係る設計の実施

身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するため、アイヌ文化交流センター内のライトコート（中庭）を、アイヌ料理に用いる自然素材などの見学スペースとしてリニューアルするための設計を実施する。

④ アイヌ文化交流センター広報パンフレット作成

アイヌ文化交流センターの見どころ等を紹介するパンフレットを作成する。

推進施策 2 : アイヌ文化の体験・交流の機会創出

予算額 : 1,495 千円 (R2 年度 : 1,573 千円)

① アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺しゅう等製作体験、昔遊び等を実施する。

② アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施する。

施策目標 4：産業等の振興

推進施策 1：アイヌ文化のブランド化の推進

予算額：32,083 千円（R2 年度：18,299 千円）

① 民芸品の定期販売会の実施

民芸品の常設販売店の設置に向けて、民芸品の供給体制の強化や人材育成・担い手の確保を目的として、民芸品の販売会を定期的を実施する。

② アイヌ文化のブランド化推進

アイヌ文化に関連した新たな商品の開発のほか、販売会・展示会へのテスト出展等によるマーケティング強化、販路の開拓やアイヌ文化を紹介する海外向け映像の制作を行う。

推進施策 2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

予算額：7,343 千円（R2 年度：7,729 千円）

① ウポポイ（民族共生象徴空間）を活用したアイヌ文化の発信

アイヌ文化に関する理解の促進を図るため、町内会などの地域団体を対象として、ウポポイ（民族共生象徴空間）とアイヌ文化交流センターを巡るバスツアーを実施する。

施策目標 5 : 生活関連施策の推進

推進施策 1 : 生活環境等の整備

予算額 : 46,965 千円 (R2 年度 : 48,218 千円)

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金貸付を行う。

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置

アイヌ生活相談員を 2 名配置し、生活に関する相談に対応する (1 名はアイヌ文化交流センター、1 名は共同利用館に配置)。

アイヌ教育相談員を 1 名配置し、教育に関する相談に対応する (教育委員会がアイヌ文化交流センターに配置)。

③ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏季・冬季休業期間にアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行う。

その他の予算 予算額 : 9,899 千円 (R2 年度 : 10,471 千円)

【主な項目】事務費 (職員人件費・備品購入費)、共同利用館運営費、アイヌ施策推進委員会諸経費、アイヌ住宅貸付滞納整理経費等

市民文化局市民生活部に関連する予算額を記載